

# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター【ご利用時間 9:00～18:00】※全日対応(土・日・祝日対応)

●フリーダイヤル

**☎ 0120-20-8822** ※携帯電話、IP電話からもご利用いただけます。

## 全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから最新の電話番号をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



●北海道支店	TEL (011) 786 - 5122	●北陸支店	TEL (076) 263 - 4311
●東北支店	TEL (022) 288 - 8676	●関西支店	TEL (06) 7167 - 3644
●東京支店	TEL (03) 5753 - 7703	●中国支店	TEL (082) 504 - 8282
●関東支店	TEL (03) 6374 - 5687	●四国支店	TEL (087) 863 - 6761
●中部支店	TEL (052) 533 - 0231	●九州支店	TEL (092) 621 - 5772

# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99700503 310 G

# HIKOKI

## 取扱説明書

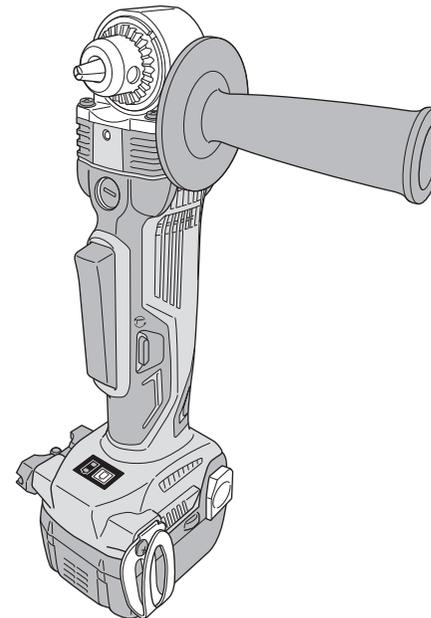
### 用途

- 鉄工ドリルで金属の穴あけ  
木工ドリルで木材の穴あけ
- 木ねじの締め付け、ゆるめ

## コードレスコーナドリル

14.4 V **DN 14DSL** [無段変速] 18 V **DN 18DSL** [無段変速]

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



はじめに	コードレス工具の安全上のご注意…	1
	本製品の使用上のご注意…	5
	リチウムイオン電池の使用上のご注意…	7
	各部の名称…	9
	仕様…	11
	各種先端工具のご紹介…	12

使い方	各操作部(機能)の使い方…	13
	穴をあける…	19
	木ねじを締める/はずす…	21
	作業上のご注意…	22

その他	保守・点検…	23
	故障診断…	26
	ご修理のときは…	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

## ⚠警告、⚠注意、注 の意味について

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**  
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**  
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**  
発熱・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
  - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
  - 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
  - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ **保護メガネを使用してください。**  
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。  
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

### ⚠警告

- ⑥ **加工する物をしっかりと固定してください。**  
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。  
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑦ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
  - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
  - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ **不意な始動は避けてください。**  
スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **指定の付属品や別売部品を使用してください。**  
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑩ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**  
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

### ⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
  - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
  - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。  
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

## ⚠️注意

- ④ 無理して使用しないでください。
  - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
  - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
  - 大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。

常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
  - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
  - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。

調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。
  - コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。

特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

## ⚠️注意

- ⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。

アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。
  - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。
  - サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
  - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
  - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
  - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受けできません。

### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

## 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスコーナドリルについて、次に述べる注意事項を守ってください。

### ⚠警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。  
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、機体をしっかりと保持してください。  
しっかりと保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、ビットやドリルなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。  
けがの原因になります。
- ④ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑤ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
  - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
  - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。  
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑥ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。  
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

### ⚠注意

- ① 工具類（木工ドリルや鉄工ドリルなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。  
確実に取付けないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。  
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 穴あけ直後のドリルや切りくずは高温になっているので、触れないでください。  
やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。  
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 細径のドリルは折れやすいので注意してください。  
飛散して、けがの原因になります。
- ⑥ 機体で材料をたたき、落下等の強い衝撃を加える、水にぬらすことなどをしないでください。  
内蔵している精密部品が破損し、誤作動等をおこす原因になります。
- ⑦ 蓄電池は確実に取付けてください。  
確実に取付けないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。

## リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。  
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。  
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。  
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

### 警告

- ① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
  - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
  - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ② 誤って落とすなど、蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ③ 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

### 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。  
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。  
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ④ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

### 蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

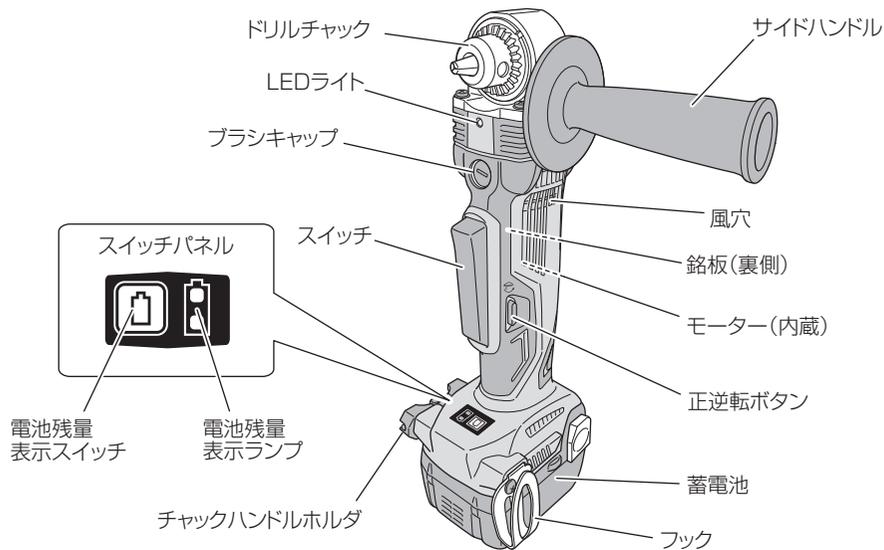


#### ○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

# 各部の名称

## 工具本体



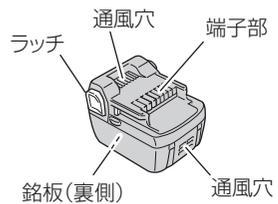
## 標準付属品

品名・形名	DN 14DSL		DN 18DSL	
	LYPK	NN	LXPKZ	NN
蓄電池 BSL 1460	1 個	—	—	—
蓄電池 BSL 36A18X	—	—	1 個	—
充電器 ※	1 台	—	1 台	—
サイドハンドル	1 個	1 個	1 個	1 個
チャックハンドル	1 個	1 個	1 個	1 個
チャックハンドルホルダ	1 個	1 個	1 個	1 個
収納ケース	1 個	—	1 個	—
電池カバー	1 個	—	1 個	—

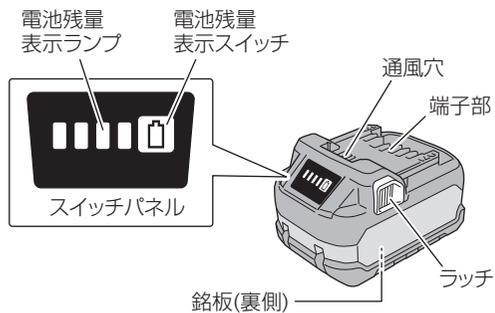
※ 取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。

## 蓄電池

### 14.4 V (BSL 1460)



### 36 V (BSL 36A18X)



# 仕様

## 1. 工具本体

形名		DN 14DSL	DN 18DSL
能力	穴あけ	鋼材：直径 10 mm 木材：直径 28 mm	鋼材：直径 10 mm 木材：直径 28 mm
	ねじ締め	木ねじ（下穴あり） ：呼び径 5.1 mm × 長さ 38 mm	木ねじ（下穴あり） ：呼び径 5.1 mm × 長さ 38 mm
無負荷回転数 [気温 20℃ 満充電時]		0 ~ 1,700 min <sup>-1</sup> {回/分}	0 ~ 1,800 min <sup>-1</sup> {回/分}
モーター 直流モーター			
キーレスチャック容量 最大把握径 10 mm			
蓄電池 円筒密閉形リチウムイオン電池			
		電圧 14.4 V	電圧 18 V
寸法 全長 × 全高 × 全幅		314 × 97 × 81 mm [BSL 1460 装着時]	317 × 120 × 81 mm [BSL 36A18X 装着時]
質量		1.6 kg [BSL 1460 装着時]	1.8 kg [BSL 36A18X 装着時]
LEDライト 白色 LED			
残量表示ランプ 赤色 LED			

## 2. 蓄電池

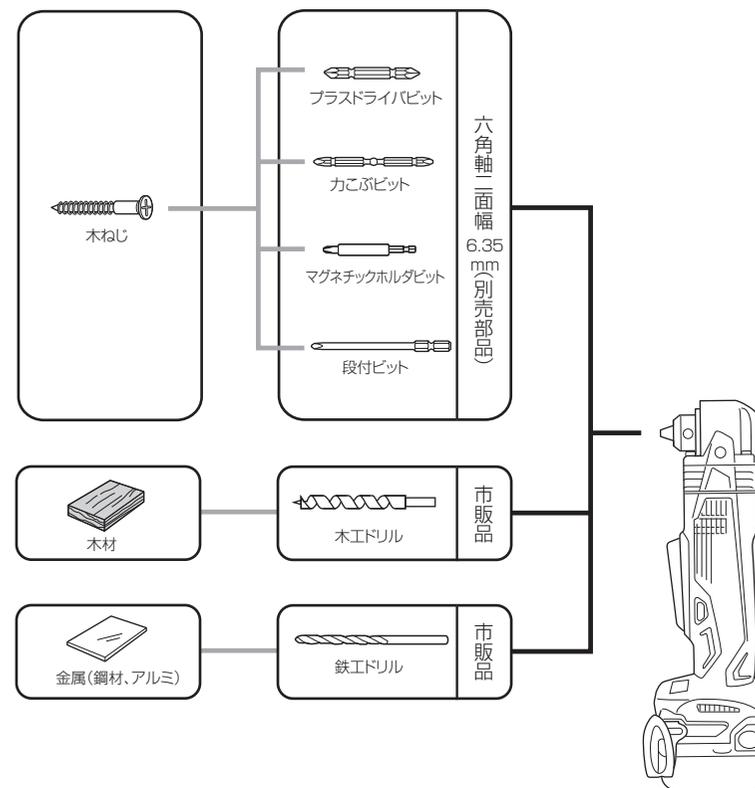
形名	BSL 1460	BSL 36A18X
種類	円筒密閉形リチウムイオン電池	
電池電圧	14.4 V	36 V / 18 V (自動切替 <sup>*1</sup> )
容量	6.0 Ah	2.5 Ah / 5.0 Ah (自動切替 <sup>*1</sup> )
冷却	対応	
使用可能 コードレス製品	14.4 V 品	18 V 品：使用可 <sup>*2</sup> 36 V 品：マルチボルトタイプ 蓄電池対応製品 <sup>*2</sup>
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36***、UC 18***シリーズ	
残量表示ランプ	—	緑色 LED

※1：工具本体により自動で切り替わります。

※2：ご利用できない製品があります。詳しくは、弊社ホームページまたは総合カタログで確認してください。

# 各種先端工具のご紹介

用途に応じた先端工具（アタッチメント）をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



**注** 能力より小径のねじやボルトを締めると、ねじやボルトが切れる恐れがあります。また、能力より太径のねじやボルトを締めると締付け不足になることがあります。

# 各操作部（機能）の使い方

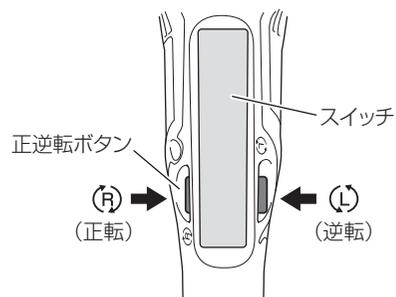
## ● 回転方向の切り替えとスイッチについて

正逆転ボタンの $\text{R}$ 側を押すと、先端工具はハンドル側から見て右に回り（正回転）、 $\text{L}$ 側を押すと左に回ります。（逆回転）

正逆転ボタンを $\text{R}$ 側と $\text{L}$ 側の中央の位置にすると、スイッチを引いてもモーターは回転しません。

**注** 次の場合は、必ず正逆転ボタンを中央の位置にしてください。

- 作業を中断および終了したとき
- 先端工具を取付け・取りはずすとき
- 保守・点検・保管するとき



## ● スイッチ操作で回転数を微調整

スイッチの引き込み量で無段階に回転数が変わります。ねじ締め開始時や、穴あけのセンター決め時にはスイッチを少し引いてゆっくりスタートしてお使いください。また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

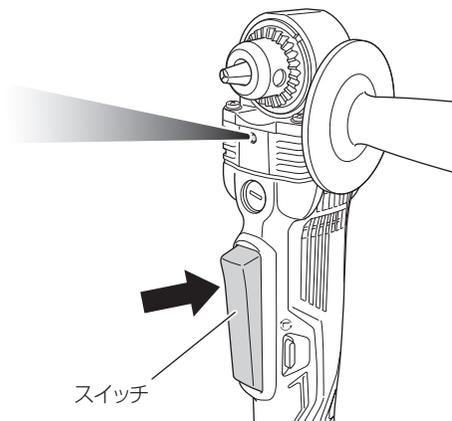
## ● LED ライトの使い方

### ⚠ 注意

LED ライトをのぞき込んで、直接 LED ライトの光を目に当てないでください。

LED ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

スイッチを引いている間、自動的に LED ライトが工具先端を照らします。



## ● フックの使い方

フックは、作業の合間に腰ベルトなどにつり下げの機能を持っています。左右に付け替えて使用することができます。

### ⚠ 警告

フックを使用するときは、コードレス工具が落下しないように、しっかりと掛けてください。コードレス工具が落下すると、事故の恐れがあります。

#### 使用例

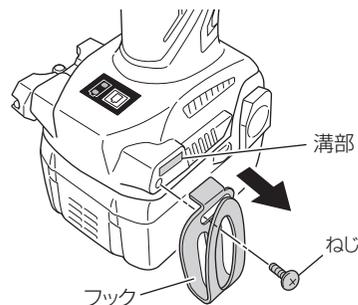


### ⚠ 注意

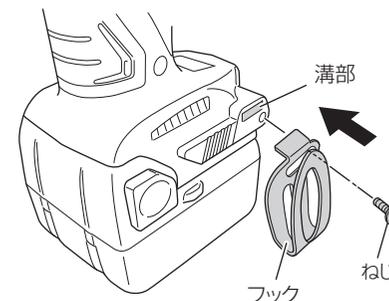
- フックを腰ベルトに掛けてコードレス工具を運ぶときは、先端工具を取りはずしてください。けがの原因になります。
- フックはしっかりと取付けてください。フックの取付けが不完全なまま使用すると、けがの原因になります。

## 1 フックをはずす

プラスドライバーを使用してねじをはずします。



## 2 付け替えてねじを締付ける



## ● 工具本体の電池残量表示ランプについて

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

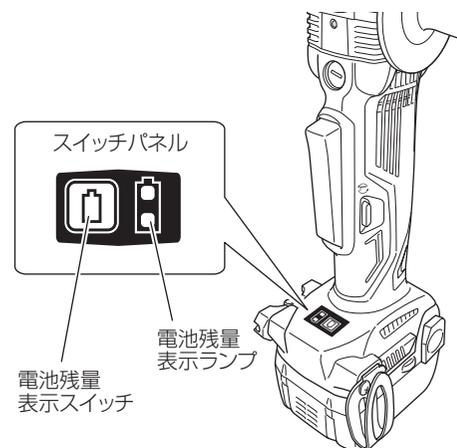
電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が約半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

- 注**
- 残量表示機能のある蓄電池を使用する際は、蓄電池側の残量表示を参照してください。
  - 電池の消耗を少なくするため、残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。

**⚠ 注意**

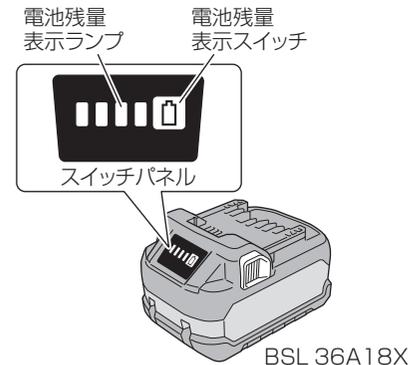
スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。



## ● 蓄電池の電池残量表示について (BSL 36A18X)

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。



- 注**
- 残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。

ランプの点灯状態	電池残量	
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止*1
		故障のため出力停止*2

※1: 蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

## ●ドリル(ドライバビット)の取付け・取りはずし

### ⚠警告

ドリルの取付け、取りはずしの際は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池をコードレス工具本体から取りはずしてください。

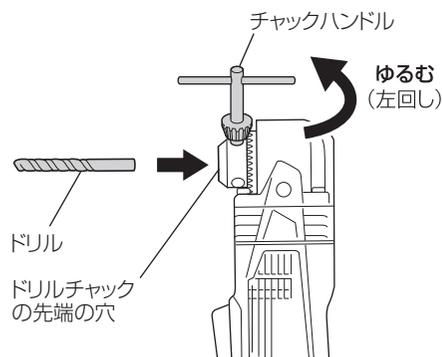
### ⚠注意

取付け、取りはずしの際は、ドリルで手を傷つけないよう十分注意してください。

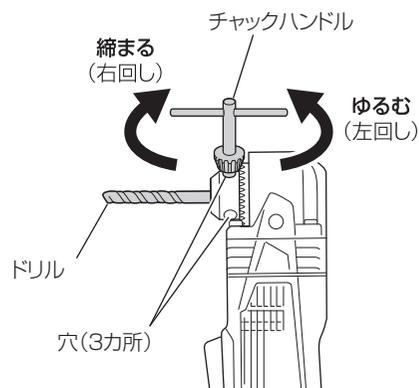
ドリルは別売です。穴あけの用途に合ったドリルを選んでください。

- 木材の穴あけ ..... 木工ドリル
- 金属の穴あけ ..... 鉄工ドリル

- 1** ドリルチャック先端の穴に、ドリルを奥に突き当たるまでさし込みます。



- 2** ドリルチャック外周の3カ所の穴にチャックハンドルを順々に入れて矢印の「締まる」方向に回し、ドリルを軽く締付けていきます。最後に3カ所とも均等の力でしっかりと締付け、ドリルを確実に固定してください。



- 3** ドリルを取りはずすときは、矢印の「ゆるむ」方向にチャックハンドルを回します。

### ドリルチャックから六角軸の木工・金工ドリルまたはドライバビットがゆるまなくなった場合

- 下記の方法で、木工・金工ドリルやドライバビットが回転しないように固定します。  
木工・金工ドリルなどの固定例：木片に木工・金工ドリルなどを強く押し付け固定する。  
ドライバビットなどの固定例：ドライバビットなどを木材に十分ねじ込まれたねじの頭部に強く押し付け固定する。
- 正逆転ボタンを逆転側にして、1～2秒回します。
- チャックハンドルを左方向に回して、ゆるめます。

## ●チャックハンドルホルダの使い方

本機は、付属のチャックハンドルホルダを取付けて、コードレス工具本体にチャックハンドルを収納することができます。

チャックハンドルホルダは、左右どちらにも取付けることができます。

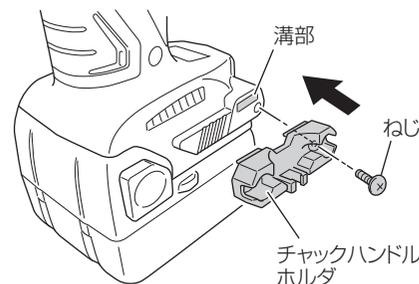
チャックハンドルホルダを取りはずすときは、逆の手順で行ってください。

### ⚠注意

チャックハンドルホルダは、しっかりと取付けてください。使用中にチャックハンドルホルダがはずれ、けがの原因になります。

### 1 チャックハンドルホルダを取付ける

プラスドライバーを使用してねじで取付けます。



### 2 チャックハンドルを収納する / 取りはずす

チャックハンドルを、ホルダに下図のように押し込んでください。



取りはずすときは、コードレス工具本体をしっかり支え、チャックハンドルを引き抜きます。



# 穴をあける

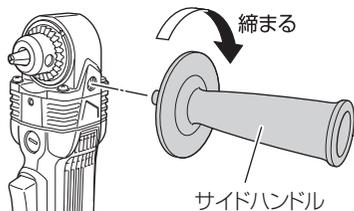
鉄工ドリルで金属の穴あけ  
木工ドリルで木材の穴あけ

## 警告

ドリルの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池をコードレス工具本体から取りはずしてください。

## 1 サイドハンドルを取付ける

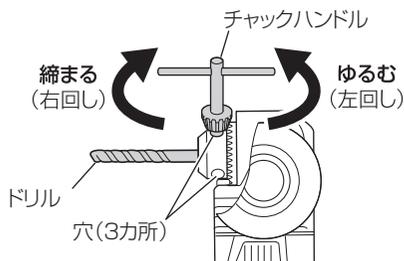
グリップを回してしっかり締付けます。



## 2 ドリルを取付ける

ドリルチャック外周の3カ所の穴に、チャックハンドルを順々に入れて矢印の「締まる」方向に回し、ドリルを軽く締付けていきます。

最後に3カ所とも均等の力でしっかりと締付け、ドリルを確実に固定してください。(P.17「ドリル(ドライバビット)の取付け・取りはずし」参照)

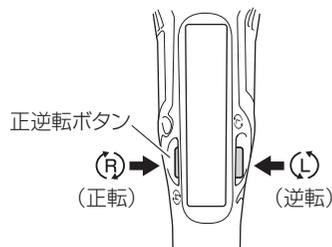


## 注意

- 蓄電池は確実に取付けてください。確実にないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- サイドハンドルはしっかりと固定してください。
- 取付けが不完全ですとサイドハンドルが回転したり、抜け落ちて、けがの原因になります。
- 穴あけ直後のドリルや木くずは高温になっているので触れないでください。

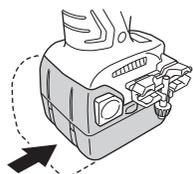
## 3 回転方向を合わせる

- 正逆転ボタンを正転(R)側から押してください。
- 中間の位置ではスイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。(P.13「回転方向の切り替えとスイッチについて」参照)

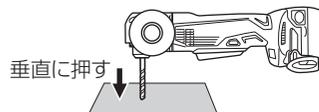


## 4 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



## 5 スイッチを入れる

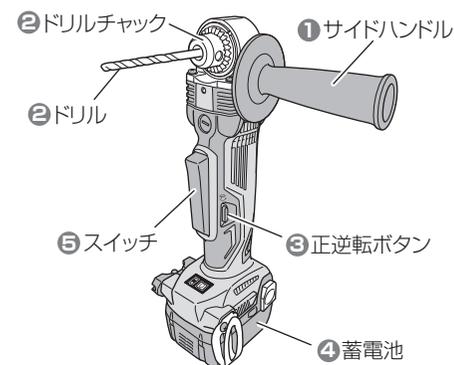


(「木材にきれいな穴をあける」  
「金属へ上手に穴をあける」参照)

## 6 材料からドリルを抜く

スイッチを入れたまま(回転したまま)、ドリルを引き抜いてください。または、いったんスイッチを切り、正逆転ボタンを逆転(L)側から押して再度スイッチを入れて引き抜いてください。

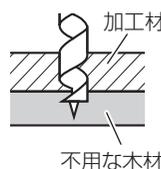
**注** ご使用の際、モーターの回転を停止させないようにお使いください。本体の故障および蓄電池の寿命を著しく短くする原因となります。



## ● 木材にきれいな穴をあける

### 不用な木材を下に敷き、加工材と一緒にあける

木工ドリルが裏側へ突き抜けるときに発生するバリを防ぐことができます。



または

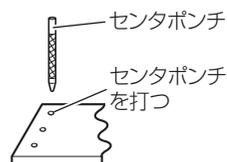
### 木工ドリルの先が少し裏側に出たときに、裏側から穴をあける



## ● 金属へ上手に穴をあける

### 市販のセンタポンチを使用する

鉄工ドリルの先が滑らず、決まった位置に穴あけができます。



さらに

### 鉄工ドリルの先に機械油か石けん水を付ける

穴があけやすくなります。

**注** 金属に穴をあける場合、穴の抜けぎわに大きな力がかかり、ドリルがキーレスチャックから滑ることがあります。このような場合は、コードレス工具本体の押し付け力を弱め、ドリルが滑らないようにしてください。

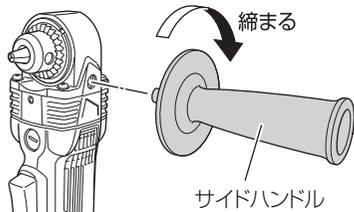
# 木ねじを締める / はずす

## 警告

ドライバビットの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池をコードレス工具本体から取りはずしてください。

## 1 サイドハンドルを取付ける

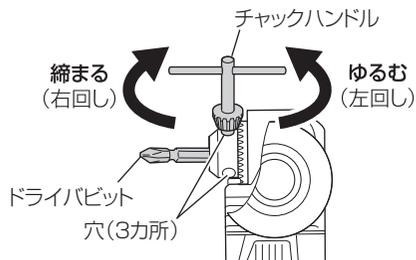
グリップを回してしっかり締付けます。



## 2 ドライバビットを取付ける

ドリルチャック外周の3カ所の穴にチャックハンドルを順々に入れて矢印の「締まる」方向に回し、ドライバビットを軽く締付けていきます。

最後に3カ所とも均等の力でしっかりと締付け、ドリルを確実に固定してください。(P.17「ドリル(ドライバビット)の取付け・取りはずし」参照)

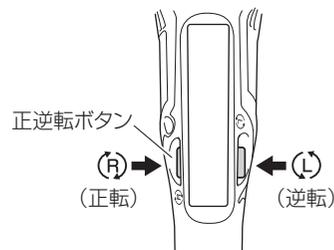


## 注意

- 蓄電池は確実に取付けてください。確実にないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- サイドハンドルはしっかりと固定してください。取付けが不完全ですとサイドハンドルが回転したり、抜け落ちて、けがの原因になります。
- 木ねじ締め、木ねじはずし直後の木ねじやビットは高温になっているので触れないでください。

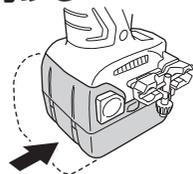
## 3 回転方向を合わせる

- 正逆転ボタンを押して、木ねじの締付け(ゆるめ)方向に合わせます。
- 中間の位置ではスイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。(P.13「回転方向の切り替えとスイッチについて」参照)



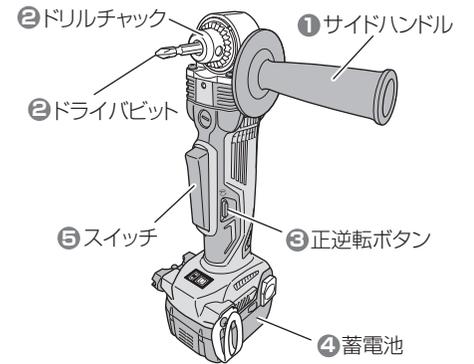
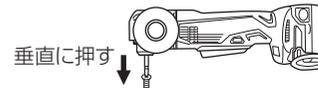
## 4 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



## 5 スイッチを入れる

- ビットの先をねじ頭部の溝に当て、スイッチを引きます。
- ねじの頭からビットがはずれない程度の力で押し付けます。



## ● 下穴をあける

木ねじの径より少し細いドリルで下穴をあけておくと木材に割れが入ったりせず、作業がらくにできます。

下表を参考にしてください。(できるだけプラス溝の木ねじをご使用ください)

木ねじ呼び径 (mm)	3.1	3.5	3.8	4.1	4.5	4.8	5.1
下穴径 (mm)	2.0	2.2	2.5	2.9	3.3	3.6	3.9
	2.2	2.5	2.8	3.2	3.6	3.9	4.2

## 作業上のご注意

### ● 連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。ボルト締付け等の連続作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。その際は本機を十分に冷ましてください。温度が下がれば再び使用することができます。

また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を15分程度休ませてからご使用ください。

### ● 変速スイッチについて

スイッチには回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。従ってスイッチの引き込み量が少ない状態(低速回転域)でモーターを停止させる作業を連続的に行うと電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

### ● 工具の保持と押し付け力について

工具本体は両手でしっかりと保持してください。工具本体を保持した際には、木ねじやボルトに対して本体がまっすぐになるようにしてください。また、工具本体は必要以上に押し付ける必要はありません。工具本体をこじる力や押し付ける力が過度にかかると、工具本体の故障の原因になりますのでご注意ください。

# 保守・点検

## ⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池をコードレス工具体から取りはずしてください。

## ●ドリル、ドライビットの点検

先端部が摩耗したり折損したドリルを、そのまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、能率も落ちますから早めに再研磨するか、新品と交換してください。

また、先端部が摩耗したり折損したドライビットを、そのまま使用すると、ねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

## ●機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。

ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。

異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

## ●端子部の点検

工具体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

## ●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

## ●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

**注** ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

## ●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

## ●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

## ⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

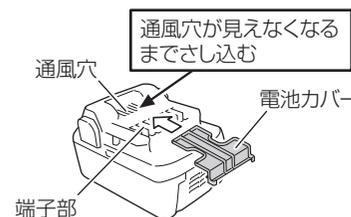


## ●リチウムイオン電池の保管について

## ⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。

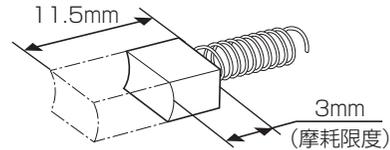


**注** リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

## ●カーボンブラシの点検と交換方法

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(3mmぐらい)になりましたら新品と交換してください。また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシチューブ内で円滑に動くようにしてください。

**注** 新品のカーボンブラシと交換の際は、弊社指定のカーボンブラシを使用してください。



### 1 ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどで反時計方向に回して取りはずします。



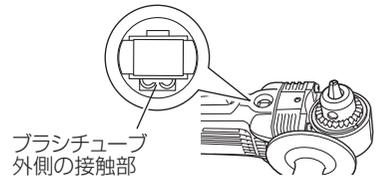
### 2 カーボンブラシを取り出す

カーボンブラシのツバをマイナスドライバーなどで図のように引っかけて、取り出します。



### 3 新しいカーボンブラシを取付ける

図のようにカーボンブラシのツメをブラシチューブ外側の接触部と一致するように方向を定め、指で押し込みます。



**注** カーボンブラシのツメは、必ずブラシチューブ外側の接触部に挿入してください(ツメは2カ所あるうちのどちらでも良い)。間違えるとカーボンブラシのツメが変形し、モーターの早期故障の原因になります。

### 4 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

## 故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

状況	原因	対策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が確実に取付いていない	カチッとなるまで蓄電池をさし込んでください。
突然止まった	過負荷になった	大きな負荷となった原因を取り除いてください。
	蓄電池または工具本体が過熱状態になった	蓄電池および工具本体を十分冷ましてください。
先端工具が取付かない 抜ける	取付け部形状が合わない	ドリルチャックの把握径は1.5～10mmなので、その範囲内の径の物を使用してください。
スイッチが引けない	正逆転ボタンが中間の位置になっている	使用する回転方向に合わせて、しっかりと押し込んでください。
ねじ頭がなめる / はずれる	ビットNo. が、ねじサイズと合っていない	適正なビットを付けてください。
	ビットが摩耗している	新しいビットに交換してください。
穴あけが上手にできない	ドリルが摩耗している	新しいドリルに交換してください。
	逆回転で作業している	正回転に切り替えてください。